

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) 旭化成株式会社		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒 712-8633 岡山県倉敷市潮通三丁目13番地	
本票作成	部署名：製造統括本部 水島製造所 環境安全部 環境グループ				
主たる業種	分類コード	16	業種名：化学工業		
事業の概要	石油化学系基礎製品製造業・プラスチック製造業				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	旭化成株式会社【B地区】		岡山県倉敷市潮通三丁目13番地	
	②	(以下を含む)			
	③	P S ジャパン株式会社 水島工場		岡山県倉敷市潮通三丁目13番地	
	④	旭化成株式会社【C地区】		岡山県倉敷市児島塩生字新浜2767-11	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kl以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input checked="" type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数 2 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				

温室効果ガス排出量	基準年度(平成 27 年度)	(平成 29)年度排出量	目標年度(平成 30 年度)
	1,334,160 t CO ₂	647,510 t CO ₂	950,000 t CO ₂
主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	(平成 29)年度排出量
	①	旭化成株式会社【B地区】	647,510 t CO ₂
	②	(以下を含む)	t CO ₂
	③	P S ジャパン株式会社 水島工場	t CO ₂
	④	旭化成株式会社【C地区】	t CO ₂
			t CO ₂

削減目標の達成状況	計画期間：平成 28 年度 ～ 平成 30 年度 (3 箇年度)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 総排出量基準	(29)年度削減実績	目標削減率	目標達成
	<input type="checkbox"/> 原単位基準	51.5 %	28.8 %	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容	原単位当たり排出量		
		基準年度	(29)年度	目標年度
		CO ₂ /()	CO ₂ /()	CO ₂ /()

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(平成 29 年度)	達成率等

【削減状況の自己評価】

水島構造改善により計画したプラントの生産停止後、2年目となる。計画に沿って順調に削減でき、昨年と同水準で推移し、目標を達成後のレベルを維持できていると評価している。

【推進体制】

【CSR推進体制】

社長――地球環境対策推進委員会――地球環境対策実行委員会、及びLCA専門委員会
 <各委員会の役割>

- ・地球環境対策推進委員会：グループ全体の地球環境対策を審議・決定
- ・地球環境対策実行委員会：地球環境対策委員会の決定事項に対し、具体的な活動を展開
- ・LCA専門委員会：グループへのLCAの普及、グループ製品及び研究開発中の製品のLCA評価を実施

【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
その他地区	<p>【2017年度実施分】 (1) 富士：蒸気供給体制の改善 (2,000t-CO2/年削減)</p> <p>【今後実施予定分】 (1) 延岡：ガスタービンコージェネレーション設備導入 (16万t-CO2/年削減) (2) 川崎：ガスタービンコージェネレーション設備導入 (1.2万t-CO2/年削減)</p>

【森林保全等吸収源対策への取組】

県内での取組	無	
その他	有	<ul style="list-style-type: none"> ・宮崎県における「あさひの森」での植林活動 ・静岡県における「あさひ・いのちの森」での自然再生活動

【再生可能エネルギーの導入】

県内での取組	無	
その他	有	・宮崎県延岡支社では、水力発電及びバイオマス発電の継続

【その他特記事項】

【水島エコ活動重点実施項目】

- 1) 事務所の照明 昼休みの不要時消灯、利用時の照明削減 (エリア別消灯)
- 2) お手洗いの照明 不要時の消灯
- 3) パソコンの節電対策の実施
- 4) エアコンの設定温度管理
- 5) 複合機、コピー機の原則両面印刷の徹底

【排出量の算出について】

- 1) エネルギー起源： 省エネ法報告値 (中電クレジット補正前) を使用547,056 t
- 2) その他： 生産活動に伴う排出量を算出して使用 100,454 t
- 3) 排出量の概念： 実績報告の外数として、石油タールピッチ由来の二酸化炭素【対象区分に該当せず】の排出が、151,611 t有り